



2026年2月7日(土)～3月22日(日)

**重ね捺し周遊スタンプラリー 参加方法**

- ① **スタンプスポット** で台紙を手に入れる。
  - ②「突撃！南島原情報局」アプリをダウンロード。
  - ③スタンプを6つ重ね捺して、絵柄を完成させる。
  - ④ **完成確認窓口** で完成スタンプを見せる。
  - ⑤応募用紙に「合言葉」を記入し、プレゼント応募。
- ※応募時の合言葉がアプリ内にあります。



南島原市ホームページ



絵柄完成で必ずもらえる！  
南島原市市制施行20周年記念ボトル

市公式Instagramをフォロー＆  
「#南島原で天草四郎を探して」写真投稿で  
抽選で10人に  
南島原オリジナルトートバッグをプレゼント！

**スタンプスポット**

- 道の駅ひまわり【確認窓口】
- 原城聖マリア観音ホール
- 西望記念館【確認窓口】
- 有馬キリシタン遺産記念館【確認窓口】
- 原城跡総合案内所
- 口之津歴史民俗資料館(本館)

こんにちは！消費生活センターです 問 南島原市消費生活センター ☎82-3010

**新生活をはじめるあなたを狙っている！**  
～特に注意して欲しい消費者トラブルをご紹介～



成年年齢が18歳に引き下げられ、大学生であっても、18歳以上であれば自ら自由に契約できるようになりました。このため新生活を始めたばかりの社会経験がまだ十分ではない18歳、19歳の若年者が狙われ、次のような消費者トラブルが起きています。

**●相談事例①**

就職のため市外で暮らし始めた息子から「一昨日、業者が家に来て、賃貸アパート全体が通信契約を変更すると言うので工事に応じた。同じアパートに住む友人に聞いたら、そんな話はないらしい」と相談があった。

**●相談事例②**

県外の大学生の娘の家に行くと新聞があった。娘に尋ねると、「突然訪問を受け、新聞購読を勧められた。不要と思ったが、お米や生活用品などを渡され、断りきれず3カ月間の契約をした。後悔している」と言う。

**●相談事例③**

大学生の息子が、大学の先輩に儲かるネットワークビジネスがあると言われ、高額な化粧品を購入しているようだ。費用は「儲けですぐに返せるから」と先輩に言われ、借金して払っている。説明通りには儲からず、返済に困っている。

**<消費生活センターからのアドバイス>**

新生活がはじまると、次々と自分で判断する場面があると思います。適切に判断するためには、情報の見極めが重要です。事業者の話やうまい儲け話に飛びつくのではなく、本当かな？根拠は？と、慎重な対応を心がけましょう。どんな理由があっても、支払いのために借金を勧められた場合は、応じないようにしましょう。勧誘を受けても、不要であれば、きっぱりと断ることが大切です。

あらかじめ相談先として、家族や身近な人、アパートの管理会社、居住地の消費生活センターなどを把握しておき、何かあったらすぐに相談するようにしましょう。困ったことがあったら、消費生活センターにご相談ください。



**イタリアの田舎から、日本の田舎へ。**

私のふるさととは、ど田舎です。  
“ブッシ・スル・ティリノ”と言う小さな山あいの村で、人口はおよそ2,000人ぐらいです。  
イオンのような大型スーパーはありません。自動販売機やコンビニもありません。  
でも高速道路のおかげで、料金が高くて他の町へ行くには便利です。  
景色は何となく南島原の山の風景に似ていますが、海はありません。その代わりに、村にはカヌー下りができる川が流れています。  
普賢岳の輪郭は故郷の山並みの姿を思い出させますが、火山ではありません。  
ブッシ村は国立公園に囲まれていて、そこも自然は大切に守られています。そこは鴨・鷹・鷺・狐・鹿・猪などのいろいろな動物と出会える場所です。運が良かったら狼を見かけることもあります。そういう場合は確かに怖いですが、狼は人間よりも臆病なので逃げていきます。  
珍しいことですが山の奥には熊もいます。数年前の話ですが、「ヨガちゃん」と呼ばれている熊は、時々村の家に訪れてNutella(ヌテラ)クリーム※を食べて帰ることがありました。誰も怪我をせず、迷惑もかけずかなり有名になりましたね。  
※ヌテラクリーム：イタリア生まれのチョコレートとヘーゼルナッツを合わせた甘いスプレッド。パンなどに塗って食べられています。

南島原もさまざまな動物と出会える場所です。イタリアでは、カラスはあまり見かけません。カラスは普通、人間に近づきませんが、南島原ではあっちこっちにいて、鳴き声は変だと感じます。まるで人間の叫び声と似ていて、私は聞くたびに「誰かが困っているんですか？」と思ってしまいます。  
でも、私にとって一番恐ろしいのは虫です。特にクモとゴキブリは、イタリアよりも大きくて数が多いですね。  
南島原に着いたのは10月初旬でしたので、まだ暑さが残っていました。私の家の玄関前に、広くてネバネバした蜘蛛の巣とそのオーナーさんである、でかいジョロウグモを発見しました。最初は、巣から飛んできて家に入ってくることが怖かったのですが、徐々にその存在に慣れました。そして、ペット・スパイダーとなり毎朝仕事へ行く時に「ブオンジョルノ・プリンシベツサ (おはようございます姫様)」と挨拶します。どうやらウィキペディアによると大きなジョロウグモはメスだそうですね。  
一番おかしいのは、自宅の庭にカニがいることです。本当に南島原の自然はブッシ村の故郷と同じく豊かでしょう。家の前には川も流れています。でも、日本の川と言えばやっぱり河童ですね。もし、河童さんが同居人になったら、きゅうりのパスタを作ってあげてもいいでしょうか。  
とりあえず私のことをどこかで見かけたら、ぜひ声をかけてください。



ティリーノ川



モンダウタ山